

■ 平成28年11月7日～11月9日 建設委員会県外調査（福岡県、熊本県）

1 11月7日 北九州市浅生スポーツセンター（北九州市）

【調査目的】

戸畑D街区スポーツ施設の整備について

【調査概要】

北九州市における取組状況について説明を受け、現地調査及び質疑応答を実施

<説明の概要>

●戸畑まちづくり構想について

戸畑区内のまちづくり団体等（約20団体）からなる「戸畑まちづくり構想検討会」で10ヶ月余りの検討を重ね、平成9年に区民と行政が一体となって策定された。

戸畑区を5つの主要地区に分けて、それぞれに基本テーマを設定。

（主要地区と基本テーマ）

- ・戸畑駅周辺地区・・・交流・にぎわい 醸成のまち
- ・戸畑区役所周辺地区・・・福祉・文化 ふれあいの戸畑核（コア）
- ・牧山海岸周辺地区・・・緑とスポーツとニューファクトリーのまち
- ・沖台地区・・・河川を活かした安らぎのまち
- ・九州工業大学周辺地区・・・緑あふれるたたずまい 学園のまち

●戸畑区役所周辺地区のまちづくりについて

公的機関及び文化スポーツ施設が集中するサービス拠点である戸畑区役所周辺地区において、4つの街区（A街区～D街区）を定め、計画的な市街地整備を実施。

A街区→小学校・住宅ゾーン、B街区→文化・住宅ゾーン

C街区→行政・福祉ゾーン、D街区→スポーツゾーン

●戸畑D街区スポーツ施設の整備について

1. 事業目的・内容

戸畑地区に点在・老朽化した9つのスポーツ施設を、戸畑区役所横の旧浅生小・中学校跡地や浅生球場のあるD街区に集約し、スポーツ拠点として整備。

2. 施設概要

- ・敷地面積が約30,700㎡。
- ・建築物の総延べ床面積は約8,100㎡で、体育館棟（体育館、室内温水プール）と武道場棟（武道場、弓道場）で構成。
- ・体育館棟及び武道場棟は平成28年9月1日に、テニスコート及び多目的広場は平成28年11月1日に供用開始。

<質疑応答>

Q：施設は大規模災害時の避難場所となるのか？

A：地域防災計画で大規模避難所に指定されており、受け入れ可能な人数は約750人。

Q：整備に至ったのは、地元からのアプローチか、行政からのアプローチか、どちらからなのか？

A：どちらからということではなく、区内のまちづくり団体等（約20団体）からなる「戸畑まちづくり構想検討会」で検討した。



## 2 11月8日 福岡県議会（福岡市）

### 【調査目的】

福岡県交通ビジョンの達成に向けた取組状況について

### 【調査概要】

福岡県の交通ビジョンにかかる概要及び取組状況について説明を受け、質疑応答を実施

#### <説明の概要>

##### ●交通ビジョンの概要について

- ・県民幸福度日本一を基本理念とした福岡県総合計画を交通部門から支える計画。
- ・交通関係者が協働して快適な交通環境を構築するための交通施策の方向性を示したものの。

##### ●交通ビジョンの計画期間について

- ・10年程度先の社会を見据えつつ、実効性のある計画期間として5年間（平成24年度～平成28年度）としている。
- ・今年度が5年目にあたるため、現在までの進捗状況や交通を取り巻く社会状況を見据えて改定作業を実施中。

##### ●基本理念について

- ・アジアに向けた成長拠点を形成し、安全・安心で快適な生活を支える。

##### ●将来像と方針について

- ・福岡県総合計画における「福岡県が目指す姿」の10項目において、交通の視点から抽出したキーワード（安定、安全、安心）から4つの将来像を設定するとともに、「アジアに向けた成長拠点を形成し、安全・安心で快適な生活を支える」ことを基本理念としている。

#### <質疑応答>

Q：交通ビジョン作成に関して、県と政令指定都市との調整はどのように進めたのか？

A：政令指定都市である福岡市及び北九州市が整備・管理している交通インフラが多数あるが県民の利便性を高めるため、意見交換を行うとともに県として実態把握に努めることで、県単位での方向性を共有した。

Q：交通ビジョンの改正に向かった課題は？

A：訪日外国人が急増していることから、玄関口となる2つの空港での対応・連携が必要と考えている。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、訪日外国人をどう受け入れるのか、交通サイド側からしっかり考える必要がある。

また大規模災害、高齢者への対応が必要と考えている。



### 3 11月8日～9日 熊本県議会（熊本市）及び上益城郡益城町

#### 【調査目的】

熊本地震の復興にかかる取組状況について

#### 【調査概要】

熊本地震の復興状況にかかる説明を受け質疑応答を実施し、地震被災地の現地（益城町）調査を実施

#### <説明の概要>

##### ●熊本地震にかかる被害状況等の概要

- ・前震（震度7）が4月14日の午後9時26分、本震（震度7）が4月16日の午前1時25分に発生。
- ・震度7の地震が28時間以内に2回発生。また一連の地震で震度6以上の地震が7回発生。  
※いずれも観測史上はじめて。
- ・公共土木施設は、3,319箇所約1,900億円の被害（平成28年8月23日現在）。

※道路・河川をはじめとした各地の被災状況及び復旧状況にかかる状況を聴取

##### ●6月～7月の梅雨前線による豪雨にかかる被害状況の概要

- ・熊本地震で地盤が緩んだ上に記録的豪雨があったことにより被害が拡大。
  - ・公共土木施設は、2,625箇所約254億円の被害（平成28年8月23日現在）。
- ※道路・河川をはじめとした各地の被災状況及び復旧状況にかかる状況を聴取

#### <質疑応答>

Q：仮設住宅の建設にあたり工夫された点は？

A：国土交通省等から東日本大震災の際に建設した仮設住宅の仕様を入手し、平成24年の九州北部豪雨の際に阿蘇地方に建設した応急仮設住宅の仕様を比較し、建設した。  
具体的には、断熱材の厚みを増したり、二重サッシとした。

Q：地震の発生に備えて、避難訓練を実施する場合のアドバイスをいただきたい。

A：地震に特化した訓練は行っていなかったが、過去から水害が多かったことから、市町村では避難所が決められているケースが多かったため、自分がどこに避難するかを把握している人が多かった。

